

# みやの森通信



発達凸凹向けフリーペーパー 第22号:2022年12月1日発行 編集長:家森 謙  
Ponteとやま(みやの森カフェ) 富山県砺波市宮森303 電話:0763-77-3733  
メール:miyanomori.ponte@gmail.com Ponteとやま facebook 検索



## 祝 1周年

お菓子のアトリエ Mèli-Mèlo



10月8日でなんとメリメロが一周年を迎えました。

あっという間だった気もしますが、中身の濃い1年でした。

メリメロはすべて手作りのため、量産はできません。でも、一つ一つ本当に心込めて作っています。受けとったお客様が、それをしっかり感じとってくれていることにも感動します。つい最近、注文してくださった東京在住の方から「クッキー作っていらっしゃる人、ただ者ではありませんね!」という感想をいただきました。

誕生日ケーキ、法事のお土産のためのお菓子、職場の皆さんや、教室の子どもたちへのプレゼント、お世話になった方へのお礼、一つ一つに歓声聞こえるような反応をいただいています。今月は「コミュニティハウスひとのま」のクラウドファンディングの返礼や地域の集まりでのお土産70袋の注文もいただきました。ありがとうございます。

カフェでお出しするケーキも、進化を続けています。るりちゃんのいろんな種類のチーズケーキ、日和ちゃんのロールケーキは定番となりました。ゆかりんは、季節を取り入れたケーキを次々と考案。今年はイチジクが豊作ということで、イチジクシリーズは大人気でした。そして新たな仲間も増えて、パンがスタートしました。進化は止まらない! これからも皆さん、ご期待くださいね。



本当に**広告募集**。みやの森カフェに居る加藤へ直接お話いただくか、  
0763-77-3733(みやの森カフェ)、miyanomori.ponte@gmail.com へ本当に連絡を

本当に

**募集中!**

みやの森通信アーカイブはこちら

Ponteとやま フリーペーパー

検索



Ponteとやま全体案内はこちら

Ponteとやま

検索



# みやの森カフェ テレビ番組に!



2022年9月25日（日）16：00～放送【再放送※：2022年12月24日（土）13：00～】

～KNBふるさとスペシャル 森のごちそう～ ※予定変更の場合有

KNB evreyでの取材に続いて30分番組に…というお話をいただいたとき、正直迷いました。Ponteとやまは、小さなカフェを拠点にいろいろな活動に取り組んでいます、

『するーされる』という関係性を作らずに、目の前にいる人と共に過ごす中でその人が自分で一步を踏み出していくことを応援していくというスタンスが、映像の中でどんなふうに切り取られていくのか少し心配という気持ちもあったからです。

KNBの記者奥野さんとカメラマン羽柴さんによる密着取材の3週間。最初はお互いに緊張したけれど、だんだんお仲間みたいな感じになってきました。とはいえ、どんな番組になっているのか、本当に放送されるのか？放送日の1週間ほど前に、タイトルは「森のごちそう」とわかり、「え？ごちそう？」と益々不安が増した私たちでしたが、実際の番組を見て、「あ～よかったな」という思いと、かかわってくださった皆さんへの思いがあふれました。

『番組を見ていて、私たちのやっている事を深く理解して下さったんだなあと思いました。私たちは子どもたち若者たち、そしてカフェに来てくれる人たちに何かしてあげる活動をしているのではなく一緒にいる、食べる、そしてその瞬間共に生きる、ただそれだけのことをしているのだと思いました。改めて子どもたちや若者たち、お客さんの笑顔がまぶしくて、みやの森にご馳走があつてよかったと心から思いました。私たちの日常を客観的に温かく捉えていただいたなあと感謝しています。ごちそうが主役！これがピッタリくる』（加藤）

『テレビを通して自分のことを話すことができて、貴重な経験になりました。テレビに映った僕を見ていて前職を辞めたときの顔から随分変わったなあと思いました。自分の出演シーンの切り抜きは大切にしておこうと思います』（ミヤシタ）

『仲間と一緒に楽しそうにご飯を食べている様子が映し出されていてとても良かったです。みんなの笑顔が輝いていました。仲間と一緒に笑いあえる時間が多いことはありがたいことだとあらためて思いました』（タケシ）

こうたろうくんと同じ小学校の同級生は「こうちゃんも頑張っているんだね。

こうちゃんかっこいい！素敵だった」と感想を寄せてくれたと聞きました。



取材中「やはり子どもたちには学校に戻ってほしいと願いますか」と尋ねられたことがありました。学校に行くか行かないか決めるのは子ども本人。親も含めて周りの大人が「戻そう」とするのではなく（そうすればするほどこじれます）まずはその人自身が元気になる、エネルギーをためる、そのための居場所。子どもも大人も自分らしくいられるそんな場所をこれからもみんなと一緒に作っていききたいなあと思っています。

このところ、毎日、20人ぐらいの子どもたち若者たちが来てくれています。

そろそろ小さなカフェは狭く感じるようになってきました(^;)

# みやの森カフェ 郡上へ出張



10月23日は、岐阜県郡上八幡市に「出張カフェ」に行ってきました。

メンバーは、水野、私加藤と、川合君、安念君の4名。

呼んでくださったのは、郡上八幡でごちゃませ居場所を

開いている「お宝まんじゅう」の皆さん。3年前に、富山型デイサービスの共生フォーラムで、私がカフェの紹介をしたときに、「びびっ」ときたとのこと。ちょうどコロナが出始めのとき、薬剤師さんである山田さんが郡上からアルコールをはじめ消毒グッズを持ってきてくださったこと、忘れられません。

ここからは川合君の報告でいきましょう。

僕と安念君はド緊張。過去から現在までの話をしたけど、それを聞いている人達が可哀想とか哀れみとか同情とかではなく、皆さん真剣に僕達の話から何か得ようとしている姿に感激しました。

そして、僕達の話の後に行われた、3人組のバンド演奏も素敵なハーモニーが奏でられていて感動しました。

帰りには、主催のお宝まんじゅうの活動場所を見学。

自宅と活動場所が併設。みやの森カフェも自宅横だけど、自宅兼用もまたまた凄い。今日1日、凄く楽しく、ほっこりする1日でした！新たな出会いや体験に感謝です。また明日から楽しく、元気に頑張ろう～

みやの森カフェに若い人たちが居てくれていることも嬉しい。そして、こんな活動が県を超えてつながっていくことも嬉しい。年齢や性別、状況がばらばらでも、集い、心安らぐ、心を開く、そして新たなパワーがもらえる。さあ、私ももう少し頑張ろう！

**付録：①郡上八幡のかつ弥さんでおいしいとんかつを堪能。この女将清美さんは、私の数少ない高校の同級生。**

**②半月後、このイベントに参加できなかったという若い女性の行政マンがわざわざカフェにお茶を飲みに来てくれました。**

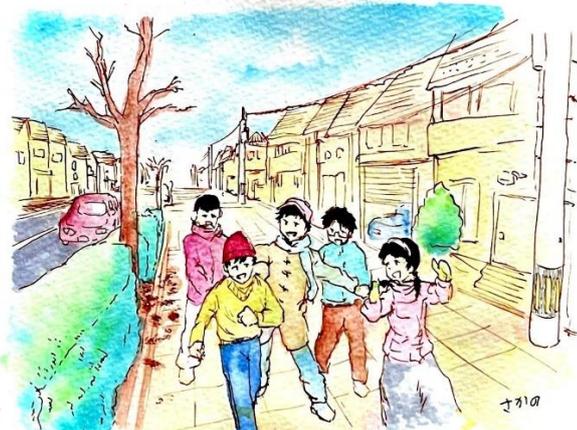


## 編集長家森の 目 誰かが誰かの役割を

▼2022年のプロ野球。オリックスが日本一を飾った。イチローや田口らを擁し、名将三原脩の流れ汲む「仰木マジック」仰木彬悲願の日本一。あれから26年▼ユニフォームの袖には「がんばろうKOBE」。阪神大震災翌年の日本一。がんばっている人にがんばろうは酷いという意見にも耳を傾けつつ、みんなで苦しみも喜びも分かち合い支えあおうという機運があった。

▼みやの森カフェも同じだ。苦しさは分かち合い、励まし励まされ、喜び／笑い／元気をもらい、誰かが誰かの役割を果たし生きる。まさに共存共栄▼震災復興が終わっている訳では無い。

阪急ブレーブス売却、球界再編、実質的なダブルフランチャイズというプロ野球の歴史もあり、人によって、いろいろな意見や思いがあると思う。私もいわゆる「10.19」に大きく心動かされた人間だ。が、言いたい。30年以上、プロ野球チームの旗を立て続け、世の中に再び喜びを与えてくれたオリックスありがとう。そして、ありがとうKOBE。



## タカ千動物園特別編 ～怪物と生き物～



次はどんな生き物について書こうか？その矢先に大怪我で入院することになった。

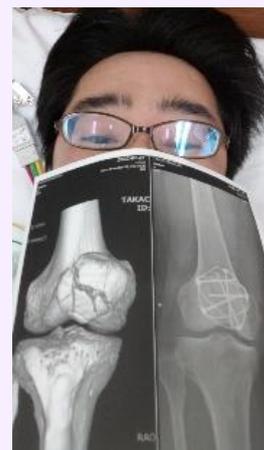
1カ月入院し、退院後2カ月が経った。リハビリは苛烈を極め、やっと日常生活を送れる程度に回復した。この話題を避けて通れないと思ったのでここに記す。

### 7/20 自転車で転倒

急に視野が暗くなり、何が起こったのか把握するために脳がフル回転を始めた。どの程度損傷した？出血は？これからどうする？幸い近くに知り合いがやっている接骨院がある。受付までは歩けたがアドレナリンがきれ、そこから一步も動けない。救急の当番医は内科の先生とのことで、救急車は呼ばず、一晩家で凌ぐ。しかしどんどん足は腫れ、激痛で動けないためトイレにもいけず、し瓶生活が始まった。

### 7/21 検査→入院

レントゲン、CT撮影でただの骨折ではなく、粉碎骨折であることが判明し、そのまま入院、手術することとなる。簡単な手術ならば膝をピンとワイヤーで\$状に固定するが、駄目ならヒマワリ🌻にするという。



### 7/22 手術

病衣から手術衣に着替え、ベッドで手術室に運ばれる。手術室に着くと手術衣が剥ぎ取られ、全裸に毛布となった。恥ずかしいとかいっている場合ではない。体の下に厚めのビニールが敷かれると覚悟を決めた。手術は全身麻酔ではなく、部分麻酔なので完全に意識がある。目の前に目隠しがあっても、体を伝わる振動でだいたい何が起きているか分かる。激痛ときいていた尿道カテーテルは膝の痛みの方が勝っていて全く気にならなかった。チェーンチェーンという音が聞こえ、振動と音で骨にドリルで孔を穿っていることが分かる。次にガッガッとハンマーでピンを打ち込んでいる。結局ヒマワリ🌻のようだ。当初1時間半ときいていた手術は結局3時間かかった。麻酔が効いているとはいえ、常に痺れと抓られているような感覚がありツライ。ほぼ体力の限界で手術が終わり、僕は泣いていた。



### 生き物どうする？問題

入院が始まった。コロナ禍により一時退院なんてもはや過去の遺物だ。そして困ったのが、家にいる生き物たちの世話だ。犬や猫とは違い、カエル、トカゲ、ヘビ等と餌からして普通ではない。事前に生き物の世話の説明書を作成すべきであったと後悔した。その後、SNSで自分の窮状を訴え、なんとか世話をしてくださる人が見つかった。そして今に至る。まだまだ膝は痛く、リハビリは続く。色々なものにありがたみを感じ、感謝するようになった。結局『後悔先に立たず』である。(続く)

みやの森通信バックナンバーはこちら↓

Ponteとやま フリーペーパー

検索 🔍



Ponteとやま全体案内はこちら↓

Ponteとやま

検索 🔍



## 発達凸凹アラカルト

feat.Ponte若者メンバー

なるほどザなんと

『気軽に知ろうよ気軽にね♪』

「見た目にわかりづらい」困難について語りました!!



2022年10月8日(土)南砺市文化創造センターヘリオス

南砺市文化創造センターヘリオスで開催された

『なるほどザなんと: 気軽に知ろうよ気軽にね♪』にて、

「発達凸凹アラカルト」と題してお話させていただきました。

「見た目問題」当事者で一人芝居をしていらっしゃる

河除静香さんからお声かけいただいたとき、私が発信できる

ことはなんだろう…珍しく?!悩みました。出演は他に

富山リカバリークルーズ海岸組の太鼓演奏、三升屋小たつ

さんの落語。ならば、みやの森に集う若者たちの力を借りる

ほかあるまい…凸凹を武器に前向きに日々を生活している

若者3人に助っ人を要請したところ、「いいですよ〜」との

返事、ほんと頼りになるPonte若者チームのメンバーです。

「高校生の時、何もかもうまくいかなくなって死のうとしたこともある」「幼いころから周囲との違和感を感じつつなぜなのかわからなかった」「いじめが怖くて学校に行くのがつらかった」発達障がいの特性ゆえにうまくできないことがあったり周りとの馴染めなかったり、時に大きな不安に襲われたり…でも今は、ほっとできる居場所で認め合える仲間とともに日常を楽しみ、様々な経験を積み重ねる中で自己を見つめ語ることができるようになってきているタケシくん、ミヤシタくん、キヨミさん。「自分は見た目では判断しないようにしている」「見た目はその人の一面でしかない。対話をしてその人をわかることが大切」「見た目で決めつけないでほしい」と結びました。人とのつながりやかかわりの中で自分なりに見つけた答えには重みがあり、聞いた人の心に響いたことと思います。

河除さんの一人芝居もとっても素敵で考えさせられる内容でした。できれば若い世代のたくさんの方々に観てほしかったなと思います。



# 耳より！情報

第1回 ～パン活、しませんか？～

担当：ともよ

## 直売所「パンのさわや」(射水市)

ご当地パンといえば、さわや食品で一番人気の  
コーヒースナックや昆布パンでは？  
富山県民なら一度は食べたことがあるかと思います。  
創業71年の伝統技術を生かすパン工場の直売所  
「パンのさわや」の紹介です。

**お得**

・工場直売により2割引価格(一部を除く)

**お得**

・早いもの勝ち特売商品  
(揚げパン、スパニッシュカステラのみみ、  
金時サンドのみみ)は、  
味・ボリューム良しのお値打ち80円！

**限定!**

・直売所のみ！30年前、コーヒースナックと  
共に人気だった「チョコポッキー」が  
12月～3月まで限定販売される

**特選**

・スパニッシュカステラのみみは15時頃店頭

**特選**

・フランスパンは14時頃焼き上がる(声を掛ければ工場から取りに行ってくれることも)

**特選**

・天然酵母パンは注文製造だが予備が並んでることも

他、直売所限定の季節パンなどもあり、一度足を運ぶとやみつきになるかもしれませんよ！

### 【直売所「パンのさわや」】

住所：富山県射水市広上2000-35

営業時間：月～金曜日 10:30～18:00、日曜日・祝日 10:30～17:00

定休日：土曜日・祝前日 電話番号：076-651-6388



本当に **広告募集。** みやの森カフェに居る加藤へ直接お話いただくか、

0763-77-3733(みやの森カフェ)、miyanomori.ponte@gmail.com へ本当に連絡を

本当に



**募集中**



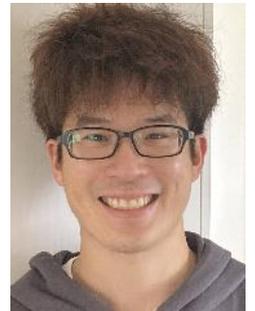
## Ponteとやまの学習サポートって どんな事やってるの？

Ponteとやまではなんらかの「**学びにくさ**」を抱えている小学生～高校生を対象に**学習サポート**を行っています。現在、砺波・高岡・射水・富山の4会場で40人余りの子どもたちが利用してくれています。

学びにくさの理由や背景は個々様々です。特に、発達障がいあるいは発達に凸凹のある子どもたちの場合、**学びにくさの根底にある認知特性等の背景を理解しサポート**することが重要です。特性への配慮をせず、学習量を増やしたり頑張らせようとするだけでは、学習の効果や成果が得られないばかりか、学習への意欲もなくなってしまいます。そこで、花まるビームでは、まず保護者の方から学習の状況等をお聞きし、体験学習に参加していただいて**丁寧なアセスメント**を実施し、学習方針を決めていきます。

困りごとにもその背景もバラバラ、そして個性的な子どもたちを指導するのは、Ponteとやまが誇る講師陣です。特別支援教育を学ぶ大学生（中には発達障がいがある兄弟や姉妹がいる人もいます）、不登校や引きこもり歴のある若者（塾等での指導歴あり）、相談に来られたママさん、そしてPonteとやま理事でもある加藤愛理子と代表理事の水野カオルです。そんな講師陣の中から今回は二人の講師をご紹介します！！

得意科目は算数、数学(中学)です。中学生までは全教科OKです。「分からない」から「分かる。」、「できない。」から「できる」へ。そして、「やりたくない。」から「やってみる」へ。子ども達と一緒に考えて、一人ひとりに合ったサポートを心がけています。「勉強が全然面白くない、分からない。」「集中できない。」と思っている子ども達、一緒に「学ぶ楽しさ」を見つけていきましょう！



川合祐司(かわい ゆうじ) 公立大学法人会津大学卒業後、地元の企業で3年間勤務。その後専門学校で精神保健福祉士を取得し県外の精神科病院でソーシャルワーカーとして勤務。2022年今年の4月からPonteとやまのスタッフ。フリースタイルスクールスタッフ、学サポの講師、子ども向け講座講師として奮闘中。Ponteとやまの制度外就労ではリーダー的存在として活躍中。



学習サポートでは、なんということのない、ふつうのおしゃべりを大事にしています。もともとの専門分野は日本(の江戸時代の)文学ですが、文章表現について教える機会も多く、小学生から大学生、おじいちゃんおばあちゃん世代まで、さまざまな世代の方々の〈ことばと表現〉に関わっています。年齢層の幅広さが自慢かも。いろいろな作品をおもしろく読むこと(または、そのお手伝い)、その人の(書き)言葉を生かしながら、その人が伝えたいなにかをすっきりとわかりやすく交通整理すること(または、そのお手伝い)が得意です。

奥野美友紀(おくの みゆき) 東京都立大学大学院人文科学研究科博士課程単位取得満期退学。博士(文学)。富山大学・富山県立大学・富山短期大学他非常勤講師。

※高校受験に関する相談(面接や小論文対策含む)、高卒認定試験に関する相談およびサポートにも応じています。

※お問い合わせは [miyanomori.ponte@gmail.com](mailto:miyanomori.ponte@gmail.com)(水野まで)

お気軽にご連絡ください!(^^)!

# 96歳 つれづれエッセイ vor5

## ことわざ考

ことわざは庶民が育てた大切な文化である。

それは社会や人情の機微を皮肉とユーモアを巧みに盛り込んで表現した短句である。

ゴロのよさから、江戸時代から人々の暮らしに溶け込み、生きるための道標（しるべ）にもなった。私たちも子供の頃いろはかるたで意味もわからず遊んだものである。

「犬も歩けば棒に当たる」「論より証拠」は私が愛読する警察小説の刑事の姿である。「塵も積もれば山となる」は消費時代への警鐘か。しかし、ことわざはかならずしも人の道を教え諭したものばかりではなく、もっと幅の広いものである。

「急がば回れ」「善は急げ」などの選択肢も用意されている。

しかし「汝の敵を愛せよ」「右の頬をうたれなば、云々」の没我的なことは言っていない。

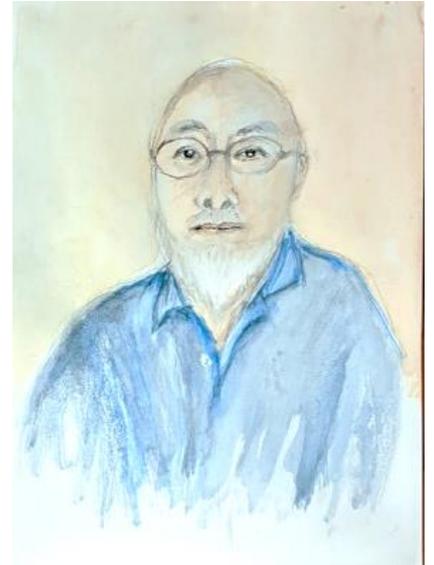
むしろどうしたら自分の得になるのかという处世術が多い。「早起きは三文の得」は勤勉の勧め「情けは人の為ならず」でさえ己の三文の利を願ってのことともうけとれる。

最近いい気になってしゃべり、大臣を棒に振った男がいる。「ものいえば 唇寒し秋の風」

「口は禍のもと」を実感していることだろう。しかし野党側も「人を誹（そしる）るは鴨の味」とばかり、敵失に舞い上がっていても票にならないよ。

こんなことわざもある。「人を呪わば穴二つ」

（伊藤博芳：店主加藤愛理子の父です）

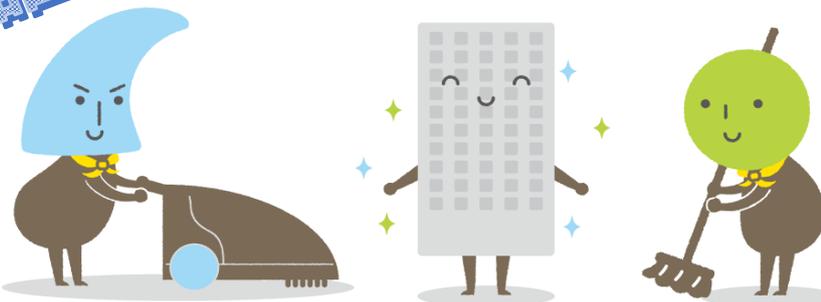


募集中

本当に **広告募集。** みやの森カフェに居る加藤へ直接お話いただくか、

0763-77-3733(みやの森カフェ)、miyanomori.ponte@gmail.com へ本当に連絡を

## 誰もが働ける地域社会へ



建築物の内外の衛生的環境を確保し、ビルを利用する全ての人々に衛生的で快適な空間の提供を目指します。

**スタッフ大募集(特に氷見市!)**

電話かホームページのお問合せフォームへ

快適空間の創造を目指して・・・  
株式会社アドバンス北陸サービス  
Tel 076-295-7040

<http://www.advancehokuriku.co.jp>

ADVANCE Hokuriku Service

アドバンス北陸

検索

書いておかないと何やったか忘れてしまうんで・・・

## Ponteとやま(みやの森カフェ) 頂き物とお仕事一覧

9月～11月 みなさまからいただいたものをご紹介します!(^^)!

米・ほうれんそう・はちみつ・ジャガイモ・ラデュッシュ・  
白菜・キャベツ・インゲン・柿・みかん・菓子等・コーヒー・  
ベトナムココア・里芋・長ネギ・ゴーヤ・梨

みなさまのご厚意に心から感謝いたします!



### Ponteとやま(みやの森カフェ) で講師を務めた イベント & 視察等一覧 (2022年9月～11月)

- 9月 3日 南砺市主催引きこもりセミナー
- 9月11日 出張保健室 (庄東センター)
- 9月15日 射水市子ども発達相談室「保護者支援講座」(水野)
- 9月24日 ブレンディング・コミュニティ型地域の居場所報告&交流会
- 9月25日 KNBのふるさとスペシャル「森のごちそう」放映
- 9月29日 射水市子ども発達相談室「保護者座談会」
- 9月26～30日 14歳の挑戦 (庄川中・庄西中・般若中)
- 10月 3日 富山市児童委員・民生委員研修会 (水野)
- 10月 5日 心の健康センター主催「ひきこもりサポーター養成講座」(加藤・塚田)
- 10月 8日 なるほどザなんと (水野・藤原・宮下・中川)
- 10月12日 学研指導者研修会 (富山県) (水野)
- 10月20日 中小企業家同友会となみ野支部10月度例会話題提供
- 10月22日 小矢部市社会福祉大会基調講演 (加藤)
- 10月23日 お宝まんじゅう主催岐阜県郡上八幡市講演 (水野・加藤・川合・安念)
- 10月25日 しらとり支援学校中学部学校プロジェクト学習講師 (水野)
- 10月26日～29日 台湾「経典雑誌」取材
- 11月 9日 富山市民生委員協議会訪問
- 11月15日 富山県幼児ことばの教室連絡協議会 (水野)
- 11月19日 放課後等デイサービスチャレンジャー保護者研修会 (水野)
- 11月20日 富山発達障害研究会 症例検討会・情報交換会 (水野)
- 11月26日 富山県PTA会員大会パネルディスカッション (水野)
- 11月26日 富山県立高岡聴覚支援学校PTA親子活動 (水野)
- 11月27日 富山県立石動高等学校PTA研修講師(水野)

みやの森通信バックナンバーはこちら↓

Ponteとやま フリーペーパー

検索 ↗



Ponteとやま全体案内はこちら↓

Ponteとやま

検索 ↗

